



# 会高同窓会報

No. 49

2019年(令和元年)  
9月8日(日)

編集・発行／福島県立会津高等学校同窓会会報委員会：発行人：会津高校同窓会会長 新城 猪之吉  
〒965-0831 福島県会津若松市表町3-1 ☎：0242-28-0211(代) F A X：0242-28-6680  
同窓会HP <http://aizu-h-doso.com/>



平成30年度 同窓会総会後の懇親会

## 「令和元年を迎えて」



会津高校同窓会 会長

新城 猪之吉

(高21回)

新元号になり気持ちも新たにりましたが、皆様には同窓会活動にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。来年は我が母校も開校以来130周年になります。私共は130周年を記念して様々な事業を計画しております。そのため皆様へはすでに協力を金をお願いしております。原発復興も成ったとは言えない、厳しい環境ではありますが、よろしくお願い致します。

我々は昭和・平成・令和と3つの元号を経験いたしました。昭和は不幸な戦争を経験し、平成は自然災害も多く、我々には厳しい試練が与えられました。しかし、何とか乗り越えてきました。では令和ではどうなっていくのか？というよりは、我々はこの令和をどう生きるかという大きな命題がつきつづけています。

昨年会津では戊辰150年を迎え、歴史を振り返り今後の生き方を考える年でもありました。が、市としては式典ぐらいで終わってしまい、とても残念でした。昔から歴史を学ぶのではなく、歴史に学べと言われていますが、市民一人一人が、会津の歴史を、しっかり知らな

ければなりません。残念ながら、会津の歴史を十分に知るための教育が行われてきたとは思われません。

NHK「八重の桜」の放映が始まった際に多くの会津の人々が、「こんな人が会津にいたなんて」と驚いていました。知らないという事実が大ショックでした。誇りとすべき人々のことを教えられていない教育とはいったいなんなのでしょう。

会津には歴史的にみて誇るべきものがたくさんあります。中でも、これからの方向付けにもなると思われるものは農業と教育です。

1684年に書かれた「会津農書」は会津が世界に誇れる農業指導書です。この本の通りに実施されれば農学革命がおき、その結果世界の貧しい人々を救います。

そして教育。日新館も世界に誇れる学校でした。どこよりも先駆けて、今というプールである水練場を持つていたし、天文学も学ぶべく天文台も設置してました。そんな学校が生み出したのは明治の世の偉人達でした。先人たちの活躍は枚挙に暇がありません。令和の世となった今こそこの先人達に学ぶべく、会津における教育を見直すべきだと思います。

今年、7月・8月に行われた選挙での投票率の低さを考えると、無責任な世代が育つていく問題を感じています。教育の力によって新しき「令和」の時代を形成してくれることを強く願っています。

この4月から校長として会津高校に赴任いたしました廣瀬と申します。同窓会の皆様には常日頃より母校に対し温かいご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。去る4月には在京、5月には北海道、6月には中部地区の各同窓会からご招待を受け、学校の現状や生徒達の活動の様子を報告する機会を与えていただきました。皆様方の母校への期待や激励、故郷会津を思う心、そして豊かな人柄に触れることができ、私もそれらを学校運営の活力とさせていただいているところであります。

現代は少子化の影響で、子ども達も家庭で大事に育てられ逞しさがなくなってきた等とよく言われますが、在校生達は勉学のみならず、部活動や委員会活動、学校行事等あらゆる教育活動を通して明るく元気に学校生活を送っています。



校長 廣瀬 敬彦

「ご挨拶」

学校の現況として、まず進路の状況を報告します。この春の卒業生は、国公立大学に現役99名の合格者を出しました。しかし、残念なことに東京大学に合格者0、東北大学5名(現役生0)と例年になく難関大学が振るわない結果となりました。本校に求められている役割は明確であり、この結果を謙虚に受け止めながら更なる国公立大学合格者の増加(三桁の合格)、私立大学希望者の底上げ、そして難関大学の合格に向け学校全体で努力していきたいと考えております。

次に部活動での顕著な活躍を紹介しますと、昨年度の全国高校総体(インターハイ)には端艇部・陸上競技部・なぎなた部が出場し、特に端艇部の男子生徒がシングルスカルで見事日本一に輝きました。また、合唱部も全日

本合唱コンクールにおいて8年連続12回目の金賞(第2位相当の長野県知事賞)を獲得し、全国に会高の名を轟かせてくれました。今年度もすでに、端艇部・陸上競技部の全国高校総体への出場やテニス部の男子生徒の国体出場が決定し、社会弁論部の春の全国大会での入賞も合め、様々な部活動において生徒達は熱心に全力で取り組んでいます。今後吹奏楽部や伝統の合唱部のコンクール等での活躍が学校に勢いをつけてくれることを大いに期待しているところであります。

今学校は、社会の変化に伴う改革という波がスピード感を持って押し寄せてきています。少子化に伴う本県の高校改革では、会津地区の複数校の統廃合の問題が話題となっております。本校においても、学年6クラス体制(240名定員)が来年度入学生で完成します。また、大学入試も現在の大学入試センター試験が現3年生で最後となり、現2学年からは大学入学共通テストが導入されます。さらには本県の高校入試も現中学3年生から新たに変わります。

このように、どの学校もまさに時代の変化の渦の中に置かれている状況であります。来年本校は学校創立130周年という節目の年を迎えます。多くの同窓生が築き上げてきた文武不岐という旗印の下、会高の伝統を大切に継承しながら、新しい令和の時代に恥じない逞しい学校作りを考えている毎日であります。

最後になりますが、同窓生の皆様には今後とも様々なお立場から母校への更なる愛情を注いでいただきまますことをお願いし、更には本校同窓会がますます発展することを祈念申し上げます、あいさついたします。

■廣瀬敬彦先生 プロフィール

- 昭和36年生れ 磐城高校卒
- 勤務歴・東白川農商鮫川分校・磐城高校・四倉高校・県教育庁指導主事・いわき光洋高校教頭・田村高校教頭・県スポーツ課主幹・県スポーツ課課長
- ・いわき光洋高校校長・田村高校校長・現職

目次

「令和元年を迎えて」 同窓会長 新城猪之吉	1
「ご挨拶」 学校長 廣瀬 敬彦	2
平成30年度総会報告	3
平成30年度会務報告・平成30年度決算報告	4
令和元年度事業計画・令和元年度予算案	5
在京地区同窓会	6
関西地区同窓会	7
中部地区同窓会	8
北海道地区同窓会	9
塩川支部・南会津支部・河東支部	10
下郷支部・会津美里支部	11
猪苗代支部・会津坂下支部・湯川支部	12
学年便り	13
中52回・高4回・高6回	13
高13回・高14回・高15回	14
高16回・高28回	15
高29回・高30回・通信制	16
同窓生寄稿	17
「学而出版委員会」で思い起こすこと	17
赤塚 吉雄 (高15回)	

# 平成30年度同窓会総会報告

30年度総会は30年9月9日(日)ワシントンホテルで開催され、250余名の参加があった。

総会に先立って、10時30分より母校「やすらぎの碑」前にて、この一年間の物故恩師・会員のご冥福を祈って「献花式」が行われ、30余名が参列した。

(1) 総会は12時30分開会。黙祷、校歌斉唱、会長挨拶の後、母校校長(山内正之様)・PTA会長(田中裕志様)・会津若松市長(室井照平様)のご祝辞を頂き議事に入った。議長は高33回が当番で皆川誠治氏が選出された。

先ず、29年度会務報告・会計決算報告と監査報告があり、全会一致で了承された。

次に、監事一名(死亡による)欠員となっていたことにより補充を提案して、近藤尚人氏(高22回)を選出した。また、同窓会規則の一部改正案についても、原案通り承認された。

次、30年度事業計画案と会計予算案が提案され、審議の結果満場一致で承認された。最後に「協賛金」の現状説明と、協力呼びかけがあり、議事が終了した。その他「学而さくら会」より同窓会へ金一封の贈呈があった。

(2) 記念講演会は13時30分から『私の外交官人生といくつかの非日常的体験』と題して塚原大武氏(高21回)の講演があった。これまで数多くの先進国・途上国を訪れた中で、アフリカのベナン駐在大使としての体験と様々な非日常的生活体験を熱く語られた。  
(会報47号「同窓生寄稿」に掲載)

(3) 懇親会は15時より開始

来賓を代表して、在京同窓会長大越康弘様(高13回)のご祝辞を頂戴し、来賓の皆様を紹介の後、本会顧問山口豪志氏(高11回)による乾杯発声で祝宴が始まった。宴もたけなわとなったところで、木村豊氏(高27回)の指揮で凱旋歌を歌いエール披露があつて、ピークとなった。

中締めは副会長竹田政弘氏(高24回)により、来年の再会を祈念して「三本締め」をして、全てを終了した。



総会受付風景



塚原大武氏



凱旋歌



塚原大武氏と同級生

## 母校は今

平成31年進路一覽  
部活動の報告

端艇部顧問 星 大地  
剣舞委員会顧問 渋井 祥雄  
部活動成績

19 18

同窓生寄稿

「国民学校准教員養成所」

佐藤 隆夫(高5回)

22

## 同窓会「会長杯」

- ゴルフ大会
- 囲碁大会
- 将棋大会
- ・ゴルフ成績表
- ・囲碁成績表
- ・将棋成績表
- ・協賛企業一覽

25 24 23

平成31年度協賛金納入者名

26・27・28

おくやみ

29

お祝い・「会津高校職員人事異動」

30

編集委員・編集後記

31

創立130周年を祝おう

32

平成30年度決算報告  
(平成30年7月1日～令和元年6月30日)

○ 一般会計

収入総額	6,516,428 円		
支出総額	4,698,115 円		
差引残高	1,818,313 円 (次期繰越金)	単位: 円	
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,501,899	事務局費	166,094
入会金	1,395,000	事業費	100,000
協賛金	3,572,000	総会費	192,992
雑収入	47,529	会報発行費	587,650
繰入金	0	会合経費(地元外)	693,500
		会合経費(地元)	65,000
		慶弔費	16,792
		卒業記念品費	259,135
		会議費	66,000
		通信費	275,962
		HP作成管理費	733,020
		基金(入会金)	1,395,000
		手数料	94,500
		雑費	52,470
合計	6,516,428	合計	4,698,115

以上報告致します。 一般会計幹事 齋藤正志(高39回)

○ 基金会計

収入総額	25,990,018 円		
支出総額	1,120,000 円		
差引残高	24,870,018 円(次期繰越金)	単位: 円	
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	24,593,660	激励金(全国大会)	1,120,000
繰入金(一般会計より)	1,395,000		
預金利息	1,358		
合計	25,990,018	合計	1,120,000

財産目録 普通預金 9,726,834 円  
定期預金 15,143,184 円  
計 24,870,018 円  
以上報告致します。 基金会計幹事 古川和則(高41回)

○ 会報委員会会計

収入総額	920,616 円		
支出総額	100,060 円		
差引残高	820,556 円 (次期繰越金)	単位: 円	
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	360,612	編集会議費	52,000
広告収入	560,000	通信費	29,700
雑収入(利息)	4	事務用品費	18,360
合計	920,616	合計	100,060

会報合本積立金合計 100,056 円 (定期預金5件)  
以上報告致します。 会報委員会会計 伊藤 顕(高46回)

○ 名簿委員会会計

収入総額	739,489 円 (前年度繰越金)		
支出総額	0 円		
差引残高	739,489 円 (次年度繰越金)	単位: 円	
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	739,483		
預金利息	6		
合計	739,489	合計	0

以上報告致します。 名簿委員会会計 千葉宏(高8回)

会計監査報告

監査の結果、「一般会計」「基金会計」「会報委員会会計」「名簿委員会会計」について適正に執行されていることを認めます。

平成30年7月17日  
監事 宮澤洋一(高26回)  
監事 近藤尚人(高22回)

平成30年度会務報告

(平成30年7月1日～令和元年6月30日)

1 平成30年度 総会

平成30年9月9日(日)	午後12時30分～午後17時
会津若松ワシントンホテル	出席者 250名
記念講演 塚原大武氏(高校21回)	元ベナン共和国大使
演題:「私の外交官人生といくつかの非日常的体験」	

2 物故会員追悼慰霊祭

平成30年9月9日(日)	午前10時30分
母校前庭「やすらぎの碑」	
物故者 恩師3名	会員77名

3 支部・地区総会

南会津支部総会	平成30年 7月 3日(火)
会高県職員親睦会総会	平成30年 7月 6日(金)
河東支部総会	平成30年 7月 22日(日)
会津坂下支部総会	平成30年 7月 25日(水)
市役所職員同窓会総会	平成30年 11月 1日(木)
関西同窓会総会	平成30年 11月 3日(土)
塩川支部総会	平成30年 11月 4日(日)
湯川支部総会	平成30年 11月 17日(土)
猪苗代支部総会	平成30年 11月 23日(金)
下郷支部総会	平成30年 12月 1日(土)
在京同窓会総会	平成31年 4月 21日(日)
会津美里支部総会	令和元年 5月 19日(日)
北海道同窓会総会	令和元年 5月 25日(土)
中部地区同窓会総会	令和元年 6月 23日(日)

4 会報発行

第48号同窓会報	発行部数 6,1000部
----------	--------------

5 「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会

開催日	令和元年5月5日(土)
第11回ゴルフ大会	参加者 171名「会津警梯CC」
第10回囲碁大会	参加者 18名「ルネッサンス中の島」
第8回将棋大会	参加者 11名「ルネッサンス中の島」

6 激励金贈呈(全国大会出場クラブ)

陸上部	3万円
なぎなた部	3万円
端艇部	6万円
合唱部	100万円

7 学校行事出席

第71回卒業式	平成31年 3月 1日(金)
平成31年度入学式	平成31年 4月 8日(月)
中田浜強歩大会応援	平成31年 4月 26日(金)

8 各種団体行事出席

戊辰殉難者秋季祭	平成30年 9月 23日(日)
白虎隊士秋季墓前祭	平成30年 9月 24日(月)
戊辰殉難者春季祭	平成31年 4月 23日(火)
白虎隊士春季墓前祭	平成31年 4月 24日(水)

9 創立130周年記念事業実行委員会

第1回幹事会	平成30年 12月 4日(火)
第2回幹事会	令和元年 6月 14日(金)

10 定例幹事会

第1回定例幹事会	令和元年 5月 31日(金)
第2回定例幹事会	令和元年 8月 10日(土)

11 会計監査

	令和元年 7月 18日(木)
--	----------------

12 各委員会

会報委員会	随時開催
名簿委員会	随時開催
HP委員会	随時開催

13 役員会

	随時開催
--	------

令和元年度一般会計予算  
(令和元年7月1日～令和2年6月30日)

収 入		(単位:円)
科 目	金 額	備 考
繰越金	1,818,313	前年度繰越金
入会金	1,360,000	5,000円×272名
協賛金	2,400,000	
雑収入	50,000	利息等
繰入金	500,000	
合計	6,128,313	

支 出		(単位:円)
科 目	金 額	備 考
事務局費	200,000	事務用品費、役員名刺等
事業費	100,000	学校事業補助
総会費	200,000	同窓会総会補助
会報発行費	600,000	会報印刷費
会合経費(地元外)	700,000	在京、関西、中部、北海道総会
会合経費(地元)	100,000	支部総会、墓前祭
慶弔費	20,000	花環代
卒業記念品費	250,000	卒業記念品、卒業証書用筒代
会議費	100,000	役員会会場費等
通信費	300,000	会報郵送代、切手等
HP作成管理費	200,000	管理費
基金	2,360,000	入会金、協賛金
手数料	90,000	協賛金振込手数料
雑費	100,000	広告代
予備費	808,313	
合 計	6,128,313	

※科目間の経費の流用は会長一任

会計幹事 齋藤 正志(高39回)



幹事会風景(8月10日)

令和元年度事業計画  
(令和元年7月1日～令和2年6月30日)

令和元年	
7月 4日 (木)	会高県職員親睦会総会
7月 18日 (木)	会計監査
7月 22日 (月)	河東支部総会
7月 22日 (月)	激励金贈呈(端艇、陸上競技部)
7月 26日 (金)	南会津支部総会
8月 2日 (金)	創立130周年記念事業 第1回総会
8月 7日 (水)	役員会
8月 10日 (土)	第2回定例幹事会
8月 23日 (金)	坂下支部総会
9月 8日 (日)	令和元年度総会
〃	物故会員追悼慰霊祭
〃	同窓会報第49号発行
9月 23日 (月)	戊辰殉難者秋季祭典
9月 24日 (火)	白虎隊士秋季墓前祭
10月 中旬	市役所職員同窓会総会
10月 下旬	下郷支部総会
11月 上旬	塩川支部総会
11月 中旬	関西同窓会総会
11月 中旬	湯川支部総会
11月 22日 (金)	河東支部そば会
11月 下旬	猪苗代支部総会
令和2年	
3月 1日 (日)	第72回卒業式
3月 下旬	母校離任者送別会
4月 8日 (水)	令和2年度入学式
4月 中旬	在京同窓会総会
4月 23日 (木)	戊辰殉難者春季祭典
4月 24日 (金)	白虎隊士春季墓前祭
4月 下旬	会津美里支部総会
4月 28日 (金)	中田浜強歩大会応援
〃	母校着任者歓迎会
5月 5日 (火)	「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会
5月 中旬	第1回定例幹事
5月 下旬	北海道同窓会総会
6月 中旬	中部地区同窓会総会
7月 下旬	会計監査
8月 中旬	第2回定例幹事会
9月 12日	令和2年度総会
〃	物故会員追悼慰霊祭
〃	同窓会報第50号発行
9月 12日 (土)	創立130周年記念事業開催

※ 役員会並びに各委員会随時開催

## 在京同窓会

### 「令和時代の人間関係」

会長 大越 康弘（高13回）



には「人の和」が大事だと説いている。それ以来日本では、和やかな人間関係「人の和」を大切に、世界から礼節に富んだ国民だと評価されてきている。

しかしながら近年、日本国内において人と人との間において争い、不平等の関係が目立つようになってきているように思える。子供同士のイジメ、パワハラ、セクハラ、暴力問題、不登校、引きこもり、などなどである。我々の小さい頃、若い頃にはあまりなかったように思える。多少あったとしてもそのことは余り問題視されなかったし、やはり近年増えてきて社会問題化しているものと思う。

どうしてこうなったのか。一つには一人っ子のように少子化になったため兄弟同士で、あるいは地域の仲間同士で「程よい人間関係」を作る訓練が小さい頃からなされてきていないので、自己主張しながらも自制し、我慢しながら他人と仲良く行動することがあまり経験せずに育ったことがあるように思えてならない。無論子供は子供ながらに大きな情緒・精神問題を抱えていることがあるのだが、そのことを大きな情緒・精神問題と抱え込まない人間のタフさを身に付けて欲しいと願うのは無理なのだろうか。確かに社会環境、社会状況は大きく変わってきてはいるのだが。

会津には「ならぬことはならぬ」という仕の教えがあった。これには二つポイントがあって、一つは「ならぬこと」の内容で、嘘をついてはならぬ、卑怯なことはならぬなどはその通りだが、戸外で婦女と話してはならぬというようなことは今の規範から外れるので、その内容はその時代に即したものになるべきだ。二つ目は教える内容についてはその理由はともかく、人の道だと頭から子供に教え込む点だ。この点はいつの世になっても特に小さい子供に対しては重要なことだと思う。

その観点からすると、今教えるべきことは、孔子の教えである「己の欲せざることを人に施すことなかれ」であり、これが人間関係の基本で、あつて、別の表現を借りれば、冒頭の「令和」の精神だと思う。したがって、これからは、小さい頃から大きくなるまで、家庭で、学校でそして社会で「自分が人からされたくないことは人にはするな」という「ならぬこはならぬ」ということをしっかりと教えていくべきものと願う次第である。



—懇親会風景—

### 「活動状況」

幹事長 山寺 清蔵（高17回）

#### 【総会】

毎年4月、上野精養軒で行っています。今年は140名が集り会場内では歓談の輪ができ懇親を深めました。が、ここ数年は参加者数が漸減傾向にあり、このままでは学生の招待も維持できなくなりそうで、如何にして参加者を増すかが課題です。来年は4月18日第3土曜日を予定しています。

#### 【会津歴史探訪の旅】

6月8日～10日、北海道・余市周辺の旧会津藩土の入植地や関連旧跡を訪ねました。

#### 【文化講演会】

7月2日、渡部潤一氏（高31回・国立天文台副台長）が「会津と宇宙の深い関係」について話しました。

#### 【その他の催し物】

年2回（6月、12月）の会報発行、囲碁大会、芋煮会、会津若手人材育成塾（会津学生・若手社会人セミナーを改称）、歩こう会、川島杯ゴルフ大会、麻雀大会、世代交流会など。



—歴史探訪—北海道の旅—

## 関西同窓会

「初代会長・菊地泰次先生を偲んで」

会長 管家 大幸（高14回）



談役（中46回／京都大学名誉教授）が昨年12月26日に永眠されたことをご報告致します。

## 四地区から

ご家族のお話によれば、クリスマスチャンであった先生は前日の25日まで教会やお仲間との会合にも顔を出され、クリスマスもご家族と共に楽しく過ごされました。翌26日の朝食後にいつもと変わらぬ様子で書齋に向かわれ、デイジー（録音図書）で読書をされていたとのことです。が、昼過ぎ、ご家族が気付いた時には椅子に座ったまま穏やかに眠るように天に召されていたとのことです。

昨年11月の関西同窓会総会にお顔を見せられた時には、95歳とは思えぬ元気な張りのあるお声で挨拶され、その豊富な読書量と記憶力の凄さに集まった会員や現役学生たちは唯々圧倒されるばかり。同時に「いつお迎えが来るかもわからん。でも生ある限り毎日読書をしている」とも。心の準備はいつでも出来ているとの覚悟も示されておられました。別れ際に「来年また会おう」と言い残されて颯爽と去られて行ったお姿が昨日のことのように蘇って参ります。

数年前に他界された今村静生相談役（中47回）はじめ大先輩方の訃報を耳にすることは実に寂しいことではあります。当会の更なる発展を心に刻みつつ、ここに設立

時にご指導いただいた在京同窓会をはじめ、各地区同窓会の皆様に謹んでご報告申し上げる次第です。



第26回関西同窓会総会 平成30年11月3日 ホテル・プリムローズ大阪

## 「活動報告」

幹事長 佐々木 繁（高20回）

### (1) 第26回総会

平成30年11月3日（土）、「ホテルプリムローズ大阪」で総勢30名の参加を得て開催。総会に先立ち、千葉宏先生に「同郷の縁と絆」と題した講演を頂いた。また、本部同窓会副会長の戸川稔朗様、山内正之校長から同窓会活動や進学状況等の紹介があった。

懇親会は、菊地先生（中46）の気力溢れるスピーチや上野信様（高14）の詩吟などで盛会に終えた。ただ昨今、関西方面の大学進学者の情報収集が難しくなり、当会のひとつの目的である、学生との懇談、激励の活動が困難になってきている。

### (2) 散策会

当同窓会の特色ある活動として年3回ほど関西の史跡などを巡る散策会を実施している。武田尾、生瀬の福知山線廃線敷や鶴林寺、京都迎賓館などの散策会を開催した。

### (3) その他の活動

そのほか、「定例懇談会」や各地区同窓会との交流、恒例の会高生による黒谷での剣舞奉納に参列し、激励を行った。



京都黒谷・西雲院での修学旅行生（2年）による墓前奉納激励

# 中部同窓会

## 「活動報告」

幹事長 林 誠三郎 (高19回)

新元号が令和になって1か月半、令和元年6月23日第32回中部地区同窓会総会を開催いたしました。今年も、会津女子高校同窓会(松操会)との合同の形で開催いたしました。昨年同様、再開発が進む名古屋駅前のホテルで日中の開催といたしました。会津や関西からの来賓を含めて総勢21名が集いました。

総会に先立ち、恒例となった特別講演会を実施しました。今年には会女側が当番なので、鈴木武子さん(高24回)が『母の遺言』と題して、「人のために役に立つ人になれ!」という母の言葉を自分の心の核として建築設計と不動産宅建士として歩まれた人生の話に、すっかり皆さんの心が魅了されました。

司会進行役は会高鈴木幸喜さん(高21回)、と会女岩淵さち子さん(高18回)が務めました。総会は、大内哲男前会長(高13回)の開会宣言。小林秀明会長(高15回)の挨拶。つぎに、林誠三郎幹事長(高19回)より活動報告及び会計報告がありました。さらに、大東祥順監査役(高5回)から監査報告が行われ、恒例になりました秋の芋煮会の報告がありました。満場一致の拍手を持って承認され総会は滞りなく終了しました。

次に来賓として、本年4月に校長に着任された廣瀬敬彦校長から母校の進学状況や部活動状況および着任後の新しい取り組みなどが紹介されました。とくに少子化による県内の学校統合計画が進んでいる状況が報告され、一同ビックリしました。管家大幸関西同窓会会長(高14回)から活動状況や戊辰150年で京都黒谷墓地内に松平容

保公の石像が建てられた報告がありました。最後に林健幸副幹事長から会津の現状と、同窓会から在校生への活動支援を積極的に進めるなどの話がありました。

ここで恒例になりました集合記念写真の撮影。

安西廣恭氏(高10回)の乾杯の御発声で懇親会に移りました。酒は会津から取り寄せた地酒で乾杯し一段と盛り上がり、そこかしこで話の輪が出来上がり、故郷会津を懐かしむことしきり。そして、今年特別企画「古閑裕而を歌う」と題して小池秀夫顧問のハーモニカ、鈴木幸喜さんのギター伴奏で大いに盛り上がりました。懇親会会場には、昨春秋に開催し恒例になった大高緑地公園での芋煮会のアルバムが回覧されて話題になりました。最後には会津磐梯山の盆踊りで締めました。

中締めは、大東祥順氏(高5回)の万歳三唱で無事に総会と懇親会を終えることができました。

### 中部支部役員(敬称略)

- 会長 小林 秀明 (高15回)
- 幹事長 林 誠三郎 (高19回)
- 幹事 大島 暁爾 (高18回)
- 幹事 星 金次 (高19回)
- 幹事 鈴木 幸喜 (高21回)
- 監査役 大東 祥順 (高5回)
- 監査役 佐藤 信恭 (高7回)
- 顧問 谷 玄信 (高5回)
- 顧問 山田 俊作 (高5回)
- 顧問 安西 廣恭 (高10回)
- 顧問 小池 秀夫 (高13回)
- 顧問 大内 哲男 (高13回)
- 顧問 馬場 宏衛 (高17回)



# 北海道同窓会

## 「魂の継承」

会長 間部 賢司 (高13回)



12年前、初代会長の故太田原高昭氏(高10回)と同窓会を立ち上げて頑張ってきました。太田原さんが一昨年夏、故人になられると疲れがどつと出て同窓会活動への気力もなくなりました。しかしこの度、会長に選任されました。精一杯務めさせていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。

## 四地区から

北海道同窓会の11年間の歩みは、遠隔地の北海道にも会津人の歴史がたくさんあることを知らせることでした。講演会、歴史探訪、芋煮会などで会員個々の認識が共通の知識となりました。それから琴似屯田兵村や山鼻屯田兵村、余市町、せたな町の方々との交流が始まってさらに知識を深め、何かにつけて「会津を思い起こす絆」が醸成されてまいりました。

本会会報の担当者は毎年大変苦勞なさっておりますが、会員各位の協力で欠かさず発行し頭の下がる思いです。会津一円を毎年散策し、会津の歴史を紐解き、懐かしさを思い起こす紀行文を書く方や、趣味を発表する方々もおります。芋煮会ではビールと、会津から取り寄せる里芋と味噌、醤油がなんともうれいものです。最後には笹を摘んで保存し、独りでひし巻きを50個も作つてくださる方がおり、それを頼張つて締めるのです。そのほか夏のビール会、冬の忘年会等々を通して会員間の交流は年々深く強くなっております。

結びに「会津の精神」を紹介いたします。北海道会報創刊

号に寄稿された味方伸彦氏(高33回)の文章です。

「出身はどちらですか」と尋ねられた時、私は必ずこう答えます。「会津です」と。私にとって会津とは、響きそのものが誇りなのです。…会津に伝えられてきた精神。それを引き継ぎ・実践し、伝えていくのが、会津中学、会津高校の卒業生の使命だと思えます。こうした「魂」を我々は共通して持っているのだと思います。



## 「活動報告」 幹事長 高橋 孝一 (高22回)

### 【総会・懇親会】

第11回総会・懇親会は令和元年5月25日、36人が参加して札幌第一ホテルで開催した。総会の役員改選で、新会長に間部賢司監事(高13回)を選出した。新たな役員態勢は次の通り(○は新任)。

- ▽会長 ○間部賢司(高13回)▽副会長 伊藤忠孝(高16回)▽幹事長 高橋孝一(高22回)▽会計 弓田仁(高19回)▽監事 ○長嶺正紀(高11回) 星宙(高13回)▽幹事 ○鈴木明博(高21回) 弓田信(高24回)▽相談役 ○原健蔵(高8回) ○玉川利衛(高8回)

懇親会に先立ち「琵琶で聴く白虎隊」を企画した。札幌市在住の薩摩琵琶奏者・金子岳櫻さんを招き佐原盛純の漢詩を基にした薩摩琵琶による「白虎隊」を吟じてもらい、好評を得た。

総会には本校同窓会から戸川稔朗副会長(高19回)と千葉宏氏(高8回)、山口光彦氏(高30回)、そして新任の廣瀬敬彦校長に出席していただいた。

### 【芋煮会】

平成30年の芋煮会は10月27日、札幌市東区の町内会館「元村公園会館」に会高、会女同窓生ら20人が集まり、調理から宴会まで楽しくにぎやかに過ごした。

### 【歴史探訪】

第5回歴史探訪は平成30年10月3日、JR札幌線の終着駅、新十津川を往復する旅とした。



# 支部活動

## 塩川支部



30年度の塩川支部総会は11月4日喜多方市塩川町の「粹旬」で行われました。来賓として同窓会本部から太田幹事長、隣接の湯川支

部から高橋支部長をお迎えし、支部会員31名の出席のもと開催されました。

物故会員への黙祷のあと、會津中学及び會津高校の校歌を斉唱し、須田敬支部長の挨拶、太田幹事長及び高橋湯川支部長の来賓祝辞が行われました。

議事においては、29年度事業報告及び決算報告、30年度事業計画及び予算が原案のとおり承認、決定されました。

総会終了後、本年度入学の新入生6名に対して、支部長から祝福と激励を兼ねた記念品(図書券)の贈呈が行われ、新入生からは学校生活の状況や今後の抱負などについて発表していただきました。

続いて参加者全員による記念撮影のあと懇親会が盛大に行われました。参加者は、相互の親睦を深め合いながら、有意義なひと時を過ごしました。

## 南会津支部

伝統ある南会津支部令和元年度定期総会は7月26日本部から副幹事長林健幸氏をお迎えし、支部会員30名が出席して町内の丸山館で開かれた。

物故会員への黙祷後、渡部雅俊(高14回)支部長は、「地域では同じ『緋緘鎧う若武者が』を唄った『学縁』の絆を一層強くして、地域の貢献を含めて、本会組織の強化・拡大を図ることが、本会の更なる発展となる。」との決意を話しました。



から「正確な位置の情報を提供する」と題した記念講演を行いました。

懇親会は、渡部勝善氏(高8回)の乾杯のご発声で開宴し、恒例の校歌、「飯盛山の櫻花♪」学而会歌、「あゝいかにせん我が友よ♪」を全員で声高らかに歌い「学縁」の絆を確認して総会・懇親会はお開きとなりました。

## 河東支部

支部長渡部雅俊(高14回)記第37回総会は、7月22日広田駅前「おおたや」に於いて、同窓会より、新城猪之吉会長をお迎えし、開催されました。

初めに物故者への黙祷を行い、校歌の斉唱に続いて、支部長の挨拶があり、河東学園中学校として開校された記念の年に、15名という



大勢の合格者が出、昨年同様会津高校校長室にて教頭先生、小林先生立会いの下、贈呈式ができたこと等が報告されました。

また本年度の本部総会では、56回卒の安西商会の安西秀幸君が講演会の講師になり、新城会長と対談することを報告し、多くの皆さんが聴講されるよう要請しました。

新城会長からは、ゴルフ大会では、若い同窓生の参

加で盛り上がりつつあることが報告されました。

続いて総会に入り、議長に31回卒の内山嘉昭さんが選ばれ、全議案原案通り承認されました。役員の一部改選があり、副支部長に21回卒の安藤和幸君、幹事長には19回卒の鈴木宗隆君、庶務、会計には27回卒同期の大波敏昭君、渡部和彦男君の就任が報告されました。

総会終了後は、支部旗を囲み記念撮影し、懇親会に移り、高8回卒の吉田尚武先輩の発声で乾杯し、近況などを報告し合い、散会しました。

笠井武彦（高17回）記

## 下郷支部

平成30年度総会は、同窓会相談役の千葉宏先生をお迎えし、12月1日(土)割烹「鯉川」で開催され支部会員12名が出席しました。

総会は物故者への黙祷の後、河合政弘（高13回）支部長の挨拶、千葉宏先生からのご祝辞、そして創立130周年の同窓会事業計画と協賛金への協力をお願いする



会津高校同窓会下郷支部総会

旨の挨拶がありました。

また、会高剣舞会が戊辰戦争150年に当たり北海道せたな町北檜山区丹羽にある「玉川遙拝所」に招かれ白虎隊剣舞を奉納したこと。「玉川遙拝所」は、旧会津藩士丹羽五郎が12戸49人を指揮して開拓した地に大正13年に白虎隊士19名をしのび建立されたものである。そこで毎年丹羽の命日に白虎隊の

慰霊祭が行われているとお話をいただきました。

議事では、新入生激励会（図書カード贈呈）やパークゴルフ大会の実施等の事業報告・決算報告と平成30年度事業計画案・予算案が原案通り承認されました。

次に役員改選が行われ、支部長に佐藤正文（高20回）、副支部長に我妻洋（高21回）が新たに選任され、同副支部長に佐藤仁夫（高22回）が再任されました。

## 会津美里支部

会津美里支部総会は、5月19日(日)、新城猪之吉同窓会長、会津美里町長渡部英敏氏（高11回）を来賓にお迎えし、32名の参加により、「宮廻」で開催された。

新田銀一支部会長（高22回）が、「昨年度総会にて会津美里支部となったが、実質今回が第一回目の総会となる。3つの地域の情報交換により、充実した組織となるよう努めていきたい。」と挨拶し、併せて、本校の現状について、「入学者が定員割れとなり、原因としては、中学生の気質が変わってきていて、一期待で不合格となった生徒が受験せず、競争意識が薄くなっている。」と報告された。

新城猪之吉会長は、「NHKの朝ドラで古関裕而氏が取り上げられるが、本校の校歌の作曲も、古関氏であることを新聞社に申し上げた。会津高校は来年は百三十周年となるため、記念事業への協賛金の協力を

お願いしたい。」と挨拶した。

続いて渡部町長より、「新庁舎が5月7日に開庁した。半分が庁舎で、もう半分が公民館となっている。ぜひ足を運んで欲しい。町長として20年になったが、

今後ともよろしくお願いしたい。」との挨拶があった。

その後、中村文夫氏（高13回）を議長に選出し、会務報告、決算報告、行事計画案、会計予算案について審議し、承認された。役員改選については、事務局が提案し、会長に丹



会津高等学校同窓会会津美里支部総会

藤茂氏（高27回）、副会長に明田安弘氏（高24回）と板橋信幸氏（高25回）、監事に弓田秀樹氏（高25回）、荒井勝彦氏（高26回）、田中隆史氏（高31回）を選出し、総会を閉じた。

懇親会では、東瀬紘一氏（高10回）の乾杯の発声で始まり、当時の学校の思い出話や今の趣味などで、大いに話が弾み十分に情報交換ができた。最後に明田副会長の三本締めでお開きとした。

幹事長五十嵐栄（高27回）記

## 猪苗代支部



平成30年度の猪苗代支部総会は平成30年11月23日に磐梯山麓の猪苗代観光ホテルで開催されました。本部からは来賓として千葉宏先生のご出席をいただきました。総会は物故者への黙禱、旧・新の校歌斉唱、支部長挨拶、来賓ご挨拶があり、千葉先生から本校生徒たちが多くの分野で好成績を挙

## 会津坂下支部

げ活躍していることやそれを力強く支援している本同窓会の活動の内容などについてお話をいただきました。議事に入り、29年度事業報告、決算報告、30年度事業計画、予算案について審議し、原案通り承認されました。また今年度は役員改選の期にあたり支部長及び一部役員の交代や増員についても承認されました。

講演会では本校17回生で会津史学会理事であられる庄司豊様より「歴史・観光まちづくり」という演題でお話をいただきました。まずは七日町づくりの協議会を発足させたこと、地域資源を観光資源に生かしたこと、取り組みの成果や反省点の確認をし合ってきたこと、などを柱としてこれまでの取り組みについて具体的に話していただき、本町にとっても示唆に富む有意義な講演でした。その後の懇親会は和やかな雰囲気の中で日頃の生活や健康のことなどの話題で大いに盛り上がりました。支部長星美法（高16回）記

会津坂下支部の平成30年度総会を、平成30年7月25日開催いたしました。須田敬副会長のご出席をいただき、校歌斉唱の後、事業計画・予算案等について審議し満場一致で承認されました。総会終了後、毎年恒例の記念講演には、高校17回卒のOBである(有)企画キャップ代表取締役の庄司裕氏を講師としてお迎えし「歴史・観光・まちづくり〜七日町の事例〜」と題して、会津の魅力ある歴史・文化を、まちなみ整備を通して観光に結び付けるという先進的な活動について講演いただきました。講演後の懇親会では、講師、ご来賓の方々を囲んでの歓談により交流も深まり、盛会のうちに終了することができました。今年度は、本町から12名の生徒が会津高校に入学しました。当支部では、会津高校生としての誇りと情熱をもって学業や心身の鍛錬に励まれるよう、激励の言葉と記念品をお贈りしてい

## 湯川支部

ます。今後とも支部活動の進展に一層努力し、会員相互の親睦と地域の振興に寄与して参りたいと考えております。最後に母校同窓会の益々のご発展と、会員皆様のご健康をお祈りし当支部の近況報告といたします。支部長桑原勇健（高17回）記

平成30年度の湯川支部総会は、11月17日喜多方市塩川町の「絆旬」を会場として開催されました。来賓として同窓会からは、須田敬副会長（塩川支部長）、斉藤正之（塩川支部幹事長）をお迎えして、支部会員18名のもとに行われました。物故会員への黙とうの後、会津中学校及び会津高校の校歌を斉唱し、高橋新支部長あいさつ、須田副会長の来賓祝辞が行われました。議事では、平成30年度事業報告及び決算報告、平成31年度事業計画及び予算案が原案通り承認されました。総会終了後、本年度入学

した新入生3名に対して、支部長から記念品(図書券)の贈呈を行い、新入生からは学校生活の状況、今後の抱負を発表していただきましたが、今後の活躍に大いに期待したいところです。懇親会では、高校時代の懐かしい思い出話で時間の経つのも忘れるほどでした。又、湯川村の将来についてなど良き情報交換会の場となったことは言うまでもありません。総会の締めくくりには、元応援団の遠藤弘、神田武宜、坂内正隆のリードで、恒例のエール、凱旋歌の唱和となり、会員相互の絆を確認しながら閉会となりました。幹事長 菅沼弘志（高29回）記



中52回

「師を送る」

浦野 一郎 記

昭和21年3月、会津中学校校長 小池元吉先生が転出された。我が学年は戦争まみれで川崎の軍需工場までも動員され空襲の業火を浴びた事もあった。そこま



会津五三回 平成 31 年 4 月 12 日 萬花楼  
上段左より 岩本綾平 小林栄二郎 浦野一郎  
下段左より 渡部欣一 飯田耕治 桑間恒雄 赤城良一

ちが滲んでいた。見送りは全校生徒が学年順に校門から道の両側に立った。南町の町筋から街頭に出て北に折れ湯川の大橋のたもとが5年生で最後であった。

その頃はもう拳手の礼ではなく脱帽し深く低頭した。先生は目礼で去って行かれた。丁度雪解けの頃だったので冷たさが身に染みて、何となく一時期が終ったという思いを覚えた。そして春四月。またこのように新校長橋本憲司先生を迎えたのだ。

五三会は、節目でと、お手盛りで歳祝いをやってきた。古希あたりからか、喜寿、傘寿、米寿までは案内を出し名簿を作り形を整えてきたが卒寿は今の所頓挫している。飯盛山参拝、剣舞奉納など墓前祭参加の提案もあったが、気は逸るが体はノイである。もう卒

寿も過ぎ白寿までは遠いので急がず考えよう。それまでも毎月の例会は何人になっても続けようではないかと意気込んでいるのだが。 呵呵

「素晴らしき友を偲んで」

五十嵐 明 記

本年一月在郷高四新年会の席で三年前の高久晃君の葬儀に高四を代表して家内同伴で出席した話をした。田澤君からも高久君の思い出が飛び出し一段と話が盛り上がり、追悼の意も含み懐かしい思い出話があったので寄稿する。会津高校を卒業し、東北大学医学部に入学。専門は脳神経外科。同大学医学部助教授を経て新設富山医科薬科大学医学部教授。即医学部長を経て学長に就任。定年まで六年間学長を務めた。そして日本脳神経外科学会会長に就任。脳神経外科世界大会開催地に日本が選ばれるや、彼は開催地に徳島を指名した。会津出身の松江豊寿が、

ドイツ軍捕虜収容所所長として人道的にドイツ兵に接し、世界的な美談となったことを医師たちに知って欲しかったからである。またある病原体を発見し「もやもや病」と命名、学会で発表。そんな功績も評価され彼は福島県外在住者功労賞を受賞している。高久がなくなる数日前、高四回事務局田澤君に届いた手紙は本人の口述を息女がパソコンに移し、彼の最後の力を振り絞った自筆のサイン入りであった。「わが人生に悔いはなし」なんて小気味よい友である。小・中・高と同じ釜の飯を食った同窓には、破天荒で天真爛漫な愉快な友がいたが、高久晃君は代表的であったことは誰もが認めるところである。

高4回

高6回

「在京六甲会懇親会」

笠間 亮 記

令和元年在京六甲会懇親会は、5月22日(水)銀座三笠会館本店二階フランス料

理(榛名)において、18名の会員が出席して開催されました。今回は従来とは趣向を変え、特別なアトラクションはなしで、各位のスピーチにたっぷり時間をとることにしました。懇親会は、先ず、物故者の霊に黙祷した。昨年以降に鬼籍に



令和元年5月22日(水) 銀座三笠会館本店  
鈴木浩一 山室重隆 古川恒 平田寛 岸喜志雄 星靖男 川崎彰 東条栄次 五十嵐昌夫 五ノ井国男 佐久間良平  
岩上亘雄 井関利明 笠間亮 石井清嗣 林健一 福地裕 野崎邦俊

入られたのは、馬場昭巨君・八尾徹君・大井宗信君・半野幸雄君・高瀬秀一君たちで、現時点の物故者数は14名、同窓会員数は180名となりました。 乾杯の音頭は鈴木浩一君、在京会高同窓会差し入りの「会津清酒未廣」にて乾杯した。ショー トスピーチでは、近況や独自の健康法など身近なことから、天下国家や人生訓などについて存分に語っていたいただきました。

恒例のハーモニカ演奏は、岸喜志雄君の故郷会津を偲び「会津磐梯山」、「荒城の月」、「花は咲く」ほかりクエ ストに添えて数曲演奏された。写真は、例年どおり、佐久間良平君にお願いしました。中締めは、笠間亮君声で一本締めをし、再開を期して散会しました。

高13回

「死、病、生、」

佐藤 紘一 記

令和元年の「三六会」は、

いつものように8月15日に「萬花楼」で、30名が参加して行われた。

昨年度からでは3名、全

てでは60名の物故者がお

り、黙祷を捧げた。各挨拶

の後、東山

芸者、月乃

さんによる

祝舞も披露

された。

今年も又

川井君から

沢山の枝豆

とトウモロ

コシを頂

き、飲みな

がら「騒

音」の懇談

が続いた。

その中で、

一人ずつの

スピーチも

行ったが、

聞き取れな

いこともた

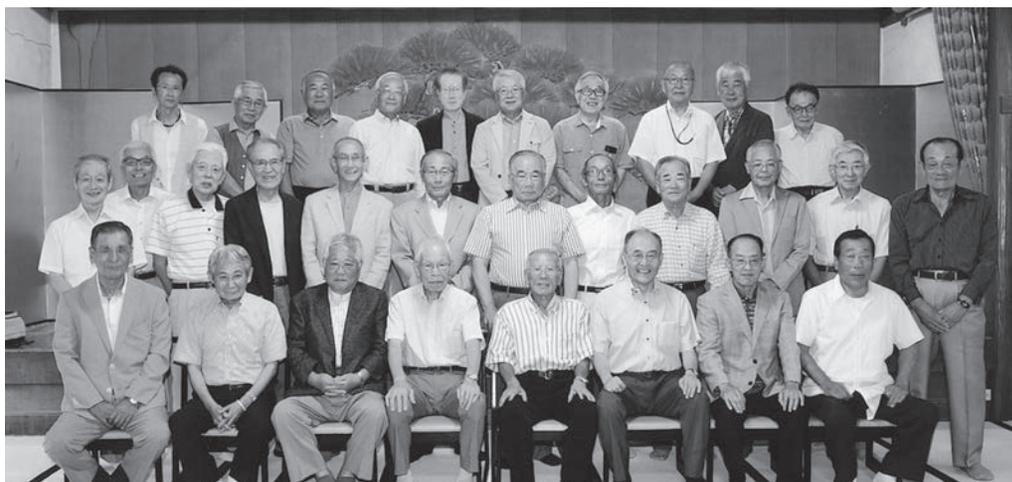
くさんあっ

た。だが、

全般的にま

とめてみる

と、タイト



萬花楼にて

なる。

我々の多くは今年で77歳

になったが、すでに鬼門に入

られた多くの者、大病を経験

した者、治療中の者、の報告

が多かった。しかし、中には、

毎日百姓とか、カラオケ、ゴ

ルフ、バドミントン、筋トレ、

脳トレ、等々で米寿から白寿

まで生きるぞと頑張つてい

る方々もいる。

その中で、海老ヶ瀬君の

「我々の年になると、何が

起こるか分からないので、

お互いに注意しましょう。」

には、全員納得。

〔幹事の中村君からお知らせ〕

各人への

「三六会」お知らせを

来年からやめます。

だがこの会は毎年、

8月15日「萬花楼」

で開催するので、参加

者は各自、電話、ハガキ

等で連絡してほしい。

連絡先 中村洋一

〒965-0801

福島県会津若松市

宮町7-44

電話0242

(27) 2335

在京14回生同期会

「囲碁・湯治の会」IN箱根

囲碁幹事深田繁實 記

平成18年、箱根強羅温泉

において5人の碁キチが始

めた囲碁の会は、その後同

好の士や湯治を楽しみたい

人たちも加わり、多いとき

は30名近く参加した。昨年

から場所を箱根大平台温泉

に移して行われているが、

第14回となる今年の会につ

いて様子を紹介します。

箱根の5月は春爛漫。一

泊二日の囲碁・湯治の会は

只見と大阪からの参加もあ

り囲碁10名、湯治6名の総

勢16名であった。午後一時

に集合し、早い時間とあつ

て貸し切り状態の温泉にみ

んなで入り、賑やかなひと

時を楽しんだ。そのあと囲

碁組はビールを片手に和気

あいあいと囲碁大会を始め

たが、一年ぶりの碁敵相手

とあつて打ち始めると真剣

そのもの、白熱した対局が

展開された。一方、湯治組

の部屋では冷えたビールや



れ、呑むほどに酔うほどに

大きな声と大きな笑いで賑

やかであった。

宴会場では同窓会から提

供された会津の銘酒「会津

中将」を前に先ずは記念撮

影。もう既に出来上がつて

いる者もおり、二時間半の

宴会はこれが後期高齢者か

と驚く程の弾けぶりで、最

後は会津磐梯山の盆踊りで

締めた。

翌朝、この愛する仲間た

ちは来年の再会を楽しみに、

それぞれ新緑の箱根を

後にした。

高15回

「飯館村田中山荘に集う」

赤塚 吉雄 記

福島第一原発事故の反省

から平成24年に設立された原

子力規制委員会の初代委員長

は高15回田中俊一君です。

原子力利用の安全施策を

策定・推進し、任期5年の

重責を全うした同君は退任

後、委員長就任前に除染活

動を行っていた福島県飯館

村に移り住み、除染、復興

等に行政とともに尽力して

います。

このような田中君を激励

しようと「会津っぽ15会」

(高15回同期会・幹事長鈴木

木忠正君)の17名は本年4

月25日、飯館村の田中俊一

山荘に集結しました。

福島駅前で食材を仕入れ

て向かった田中中山荘では、

田中夫妻が朝採りしたタラの

の芽などを準備して待機し

ており、パーベキューパー

ティが始まりました。

同期の新井田傳花春酒造

(株)社長から差し入れられた、

復帰女性杜氏の醸造になる

純米大吟醸酒「結芽の奏

(YUME no KANADE)」はす

こぶる美味で、花春の再建

を予感させるものでした。

への思いを披露。田中君からは「進講の話があり、その際賜った菊の御紋盃で「結芽の奏」を回し飲みしました。

屋内に移り、田中夫妻お手製の「イノハナご飯」(地元キノコ・猪鼻の香ばしい混ぜご飯)をいただきませす。近況報告では合の手が次々と入り盛り上がりま

断されるも回復した白井直明君が、「牛乳は飲むより配達はもつといい」と健康



田中山荘前での集合写真

の地では、若い桜並木が花吹雪で迎えてくれました。激励のつもりが、田中夫妻に多くの負担をかけた飯館村訪問でしたが、同期のきずなは深まりました。

### 高16回

#### 「総会報告」

川崎 造 記

令和1年7月19日(金)市内ルネッサンス中の島において午後6時から、定例総会が開催されました。

式次第に則り物故会員に対する黙祷に始まり、校歌

斉唱につづき、事業報告・会計報告・監査報告があり滞りなく承認されました。

総会後、記念撮影に続いて懇親会が開かれ、話は尽きなかつた様です。名残りは尽きず、次回の再会を約束して懇親会は散会し、二次会へ(真夜中までカラオケ三昧)。



会津高校一六会 令和元年7月19日 於 ルネッサンス中の島

### 高28回

#### 「会女と合同同窓会」

岩澤 俊典 記

私たちは、卒業回数にちなみ「二八会」を組織し、毎月例会を開催し親睦を深めているほか、五年に一度、会津女子高校の同級生と合同同窓会を開催しています。今年6月に3回目となる合同同窓会を開催しました。日中は、懇親ゴルフコンペも行い、東京や千葉など遠来の友も参加。あいにくの雨でしたが、楽しいひとときを過ごしました。合同同窓会は65人が参加。ゴルフコンペの表彰式とビンゴゲームで雰囲気盛り上げます。話は自然に学生時代にタイムスリップ。高校時代に行った両校の「交歓会」での出来事や部活での交流、欠席者の動向など話題には事欠きません。時の経つのも忘れ、お店の人に「そろそろ…」と言われ、気が付けば午後11時。名残惜しく帰宅する人、三次会に繰り出す人、思い思いの時を過ごし、五年後の再会を誓いました。

私たちが、卒業回数にちなみ「二八会」を組織し、毎月例会を開催し親睦を深めているほか、五年に一度、会津女子高校の同級生と合同同窓会を開催しています。今年6月に3回目となる合同同窓会を開催しました。日中は、懇親ゴルフコンペも行い、東京や千葉など遠来の友も参加。あいにくの雨でしたが、楽しいひとときを過ごしました。合同同窓会は65人が参加。ゴルフコンペの表彰式とビンゴゲームで雰囲気盛り上げます。話は自然に学生時代にタイムスリップ。高校時代に行った両校の「交歓会」での出来事や部活での交流、欠席者の動向など話題には事欠きません。時の経つのも忘れ、お店の人に「そろそろ…」と言われ、気が付けば午後11時。名残惜しく帰宅する人、三次会に繰り出す人、思い思いの時を過ごし、五年後の再会を誓いました。



高29回

「77喜会」還暦祝い

新井田 有耕 記

いた。そこで受付のわれらに向けた長沼先生の言葉が、「おめえら貫禄ありすぎんだよ」であった。

これまで年4回の77喜会で同級生が顔をそろえていたが、還暦を迎える年になつて、会津を離れて活躍している同級生にも声をかけて還暦祝いの会を催すこととなった。仕事の面でも定年を迎える時を間近にしており、お互いに活力を分かち合おうという思いもあつた。恩師にも出席していただいての全体会は今回が4回目となるが、これまでと異なつた風景が受付の場面で見られた。受付の長テールに幹事が並び会費の徴収や部屋割り、本日の予定などを説明していたが、その後ろに長沼先生が「デン」と控えているにもかかわらず、受付に来た同級生は先生の存在に気付かない。「おう佐藤！」などと長沼先生から声をかけられて初めて存在に気付き、「先生、お久しぶりです。」と、慌てて挨拶を交わして

場所は東山グラウンドホテル、時は平成30年9月16日

で敬老の日を翌日に迎える連休の中日であつた。これまで出席できなかった懐かしい面々も顔をそろえ65名の出席を得た。ご来賓の佐藤隆夫先生、長沼悟詮先生のありがたいお言葉をいただいた。そのあと飲みすぎたせいでお話の内容を失念してしまつたが、高校時代に受けた言葉と違つて、自分の人生と照らし合わせて先生からの言葉が身に染みまつたのではなくて、自分の思いに同化したものと思つている。一次会での盛り上がりをもつたままに二次会に突入したが、ほとんど出席者が顔をそろえていた。カメラを向けると笑顔と共にピースサインや親指を立ててのグーのサインなど、顔さえ見なければ学生と変わらなかつた。翌日、楽しい思い出を胸に、赤い

ちゃんちゃんこならず、記念の赤い杯をお土産にして、5年後の再開を誓つて別れた。



高30回

「還暦を迎えて」

石原 康嗣 記

今から60年前、我が会津高野球部は福島県で初めて春の甲子園に出場しました。会津高が唯一甲子園の土を踏んだその記念すべき昭和

34年に生まれた学年が我々30回卒になります。そんな記念すべき我々の代も野球が強く、秋の県大会準優勝、東北大会ベスト8。春の県大会優勝、東北大会ベスト4。第一シードで臨んだ夏の甲子園福島県予選はベスト4と大活躍をみせ、大いに盛り上がったことが我々30回卒の自慢です。

会津高が甲子園から遠ざかつて60年。我々も60歳の還暦を迎える年となりました。地元会津で毎月第3土曜日に「萬花楼」で無尽を行い、昔話に花を咲かせています。時間に余裕ができる歳となりましたので新たな参加をよろしく願います。

また有志による旅行も年に一度実施しており、ここ数年は山形・栃木・茨城と隣県を旅しました。還暦を迎える今年には1月に同級生の多くが居住する東京に行こうと計画しています。神田明神あたりでお祓いを行つた後に、ちゃんこ鍋を囲もうかと話しています。東京在住の方にも参加して

通信制同窓会

「やいなる親睦」

田中 愼一 記

もらい、旧交をあたためられればうれしい限りです。無尽・旅行の問い合わせは連絡幹事・石原（会津若松市行仁町9-26・0242-22-5497）まで。

通信制課程の平成三十年度の同窓会総会が遅ればせながら、平成三十一年四月二十一日に十九名の参加で、東山グラウンドホテルにて開催されました。

総会前に通教卒業生の宇都宮大学、谷本名誉教授による、「植生物の神秘」についての講演をしていただきました。次に水戸副会長の司会のもとに物故者に対する黙禱、校歌斉唱。総会に入り小湊会長の挨拶の後、事業報告、会計報告等があり、新年度の事業計画等も話し合われました。総会終了後の懇親会では、働きながら学んだ、在学時代の苦しくても、充実し、楽しかった思い出を語り合

い、さらなる親睦を深めました。

昭和四十一年の閉校後は、新たに入ってくる者がなくなり、それぞれが老年となつてしまいましたが、気持は当時のまま若々しく元気に過ごしていることを確かめました。次回逢う事を約束し、楽しく有意義な会合を閉じました。

- 会長 小湊 好廣
- 副会長 水戸 正昭
- 庶務 坂内 久男
- 監査 田中 愼一
- 佐川 久英
- 佐伽羅洋子



## はじめに

2018年会高同窓会報で学而出版委員会の現状を報告された筆者は、同委員会OBの寄稿を求めています。かつてこの委員会に席を置いた私は、埋もれたできごとを記録に残すことは同窓会報の役割の一つであろうと考え、60年ほど前のことを述べて求めに応じようと思い立った次第です。

## 歴史と伝統

私が入学した昭和35年(1960)、学而新聞は学而新聞委員会が発行していました。委員会とは名乗りながら、関心のある者が入会するというクラブの形態で通称は新聞部です。

入部して分かったことは、高校新聞界における学而新聞の赫々たる栄誉と名声です。格調高い論調、整った紙面構成で全国新聞コンクール上位入賞を繰り返し獲得しており、その名を全国に馳せていました。

学年ごとの活動内容には厳然たる区分がありました。1年生は見習い期間、2年生は企画・取材・執筆・編集・発行のすべてを行う新聞部の中核、3年生は受験勉強にいそしむため活動から離れ、部室にもあまり立ち寄らず1年生から見れば縁遠い存在でした。これらは進学校たる会高の歴史が育てた伝統でした。

中核の2年生は多忙を極めました。広告取りに市内を駆けずり廻り、締め切りが近づくと原稿執筆、紙面編集作業が深夜に及ぶ日が続き、南町通りの中華食堂からラーメンの出前をとり、すすりながら作業をしたのも懐かしい思い出です。定期試験の時期とぶつかることが多かった記憶があります。

## 創立70周年

入学の昭和35年は会高創立70周年の年でした。ファイアストームや市内を練り歩く仮装行列などの記念行事は恰好の取材対象でした。1年先輩の上野信さんが電柱によじ登って撮られた仮装行列の写真が、次回号の1面に大きく掲載されています。

南玄関を板壁で仕切って造られていた新聞部室は奥の小部屋が天井部屋に通じており、そこには発行済新聞が束になって保管されていました。これを整理し一式を創立70周年記念事業で新築された図書室に寄贈したのが上野さんでした。歴史ある学而新聞を新しい図書室に保存・公開し後輩に広く閲覧してもらおうという趣旨です。

私たちが学んだ校舎は卒業した昭和38年(1963)12月に焼失しましたが、独立棟の図書室は延焼を免れています。このためこの保存新聞は貴重な遺産となり、後年の学而新聞縮刷版発行に大きく貢献したことでしょう。上野さんは、大きな功績を残されました。

## 学而出版委員会発足とさまざまな試み

昭和36年、学而新聞委員会は学而出版委員会に改組され、生徒会が行っていた学而会誌の発行も担当することになりました。生徒会による学而会誌の発行が手詰まり、編集に慣れた新聞委員会に担当させようとする学校側の意向を新聞委員会先輩が受け入れ発足したものです。

学而新聞の判型は一般紙と同じブランケット判でした。上野さんの発案で、横組みタブロイド判や冊子型の発行を試行しましたが、経費などの面から継続はかなわず、ブランケット判に戻っています。

学而会誌の印刷を活版から先端のオフセットに変えたのもこの年ですが、印刷所の経験不足からか出来栄は思わしくなく、翌年活版に戻しています。

## 思い起こすこと

ブランケット版の印刷は福島民報社に依頼していました。原稿一式を郵送し、組版を終えたと連絡を受けると、校正のため日帰り福島市の福島民報社に出かけます。Eメールはもちろんファクスも無い時代です。この福島行は、でき上がった紙面を見る喜びと仲間とともに未知の街へ行く喜びで、待ち遠しい小旅行でした。昭和34年から会津と仙台を結ぶ直通準急気動車が運転されていましたが、準急料金を節約するため郡山で乗換え、各駅停車列車で往復しています。

私たちが編集した最後の学而新聞はときの田中平作校長の欧州視察旅行を特集、新聞コンクールで上位に入賞しました。この入賞は思いがけないもので、顧問の相楽達先生から「甘い審査だな。」と揶揄されています。校長の海外視察というトピックスに恵まれたことと、それまでの学而新聞の栄光の残照だったのです。



昭和35年11月16日発行の「学而新聞」から

# 同窓生寄稿

## 『国民学校准教員養成所』

佐藤 隆夫 (高5回) 記

『国民学校准教員養成所』という名称の教員養成所が会高前身の『福島懸立會津中學校』に設置されていたという事実を同窓生として覚えていて欲しいと願うて、本稿を纏めてみた。

### 設置された事柄の前に

「国民皆兵」とか、納税・兵役・教育の「三大義務」とか、近代日本史上で出会(でくわ)している言葉。その線上で、事実の歴史として、支那事変(後称では日中戦争)、続く大東亜戦争(後称では太平洋戦争)を遂行して行く上で、前線に兵士を補給しなければならなかった日本。特に盧溝橋事件(1937年7月7日〜8日)以来、中国戦線拡大に伴い、本国、日本から兵士として青年、壮年の男子が『赤紙』と俗称された令状によって軍に召集され、中国大陸に送り込まれていった。更に同年12月8日のハワイの真珠湾に浮かぶアメリカ海軍戦艦を日本機が攻撃した事に依って太平洋にまで戦域が広がってしまった。ABCDFラインに包囲されつつ、そんな時期に政府は学制改革をして従来の(尋常)小学校を『国民学校』と改称した。そしてその年(昭和16年・四年)4月に『国民学校』は、県内で只一校、我々の県立會津中學校に、『国民学校准教員養成所』を設置した。同年1月14日付の福島県令第5号に依るものであった。この史料は県の歴史資料館にはなくて、昭和期以降の資料として、県庁本庁舎下層階にあるという。(『国民学校』は昭和22年4月から「小学校」となる。)

### 設置のあらまし

福島師範学校はあつても現実の職域からは、男子教員は応召が続いて不足がち。そこで、昭16年4月1日より施行。国民学校准教員を養成することを目的とし、この養成所は福島縣立會津中學校内に置く。修業年限は一年とし生徒の定員を50名とする。入所(入学)は男子に限り、①高等科卒業者(国民学校初等科)旧称尋常科は小1から小6まで必須。高等科はその後、任意で2年間学んだ者。②青年学校普通科2年修了者(以下略)。

③品行方正、意志強固、思想穩健にして小学校教員たるに適する者。とされた。適する者は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。3学期制で、当時の県立中学校学則を準用。各学期とも考査し、全課程の修了未修了を決定する。修了者には修了証書を授与。この養成所を修了した者は修了証書を受得した日より一年間、福島県内で国民学校教員の職に従事する義務を負う。

### 科目と毎週時数

修身公民科(週2時間)(校長が担当)。教育学(3)。国語(6)。算数一般(5)。歴史(国史及び世界における我が国の使命(2)。地理(日本地理、東亜地理、世界における我が国の地位)(2)。理科(動植物、生理衛生、鉱物及び物理・化学の大意)(5)。図画(2)。音楽(尋常小学校唱歌)(2)。工作(尋常小学工作教材)(2)。体操(体操、教練、武道)(3)。時局科(時局に関する問題)(1)。総計(週34時間)。「英語はなかった。」

①現役の會中の教師陣の中でこれが5年間も続いた。②會津中學校の教務を務めた方の時間割編成の苦勞のほどが偲ばれる。

③教室は、中校舎東端の空き室。

教育実習は養成所長(校長)に一任されていた。市内の第一小学校(現称鶴城小学校)で実施。養成所生としての制服はなかった。

下足箱は、北昇降口にあつて、養成所生用として決められた場所にあつて、整然と使われていた。現役の會津中學校の生徒との間にトラブルなど一つもなかったという。

この准教員養成所は、冒頭に述べた戦況により、村や町の尋常小学校(後には国民学校)の男子教員も戦争に動員(応召)されていって、復員の見通しも持てず、学校現場の危機感が高まり、対策として浮上してきた県の方策だった。

### なぜ、會中に

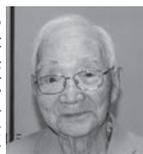
では何故、県内で、只一校・會津中學校にのみ設置されたのか。『安全』第一だったのだろう。日本海からも太平洋からも遠く離れて、国土の中ほどで、その上、歴史的、教育的風土も勘案されたものか。ミサイル(大陸間弾道弾)は、まだ戦局には登場していなかった時代だった。

福島も郡山もいわき平も空から爆撃されたが、會津若松は偵察だけに終った。その會津中學校に設置された准教員養成所に平(たいら)、磐城(いわき)、相馬、双葉、県北の福島・本宮。県中の郡山。県南の須賀川・白河など県内一円から、授業料を取らず、月額5円の修業手当を受けながら、一年間とはいえ、遠来生は下宿したりして、熱心に勉学したという。

志望は本人の心が第一ではあつたが、村や町や市の上役関係者から本人が推薦されてくるケースが多かつた。5年間。第1回生は昭和17年3月修了。県内各地(主として)まず郷里の国民学校に勤務した。第5回生は、最終回生で、終戦後ではあつたが、昭和20年8月15日以後も會中制度としての修了時(昭和21年3月31日)まで学んだのである。

### 修了生の中から

お二人に登場して頂く。



ご健在の第一回生が唐橋早苗先生(93歳) Ⅱ上掲Ⅱである。郷里で勤務せよとの指導に従い、堂島国民学校(後に小学校)に赴任。以来管理職を求めず、もっぱら、純真な学童たちとともに学び続け、會津若松の城北小学校で定年を迎えられた。

その後もお元気で足腰もしゃんとして、ご趣味の面影りの会「清宝会」の会長をなさったりしている。思い出の生徒さんの一人が、會津における進学準備校の老舗格『城南スクール』を創設した三橋守昭さんであった。

当時、會津中學校で教えていた理科の先生に小林學(まなぶ)先生がおられた。小林先生は、実物教育法で教えてたびたび、野外学習に養成所生を連れだして下さった。学びの途上にある者には、とても新鮮でうれしい授業であった。その小林學先生は、応召されて、終戦まぎわに戦死なされた。小林先生は本校前身の會津中學校33回生であった。先生のお姿は今なお唐橋先生の記憶の中で鮮やかだ。



喜多方の上三宮小学校長を最後に、定年で退職の鈴木邦意先生Ⅱ上掲Ⅱは准教員養成所修了の最後の第5回生であった。鈴木先生はご退職後も會津史談会会長や、會津扇竹会長、會津文化団体連絡協議会会長等十四もの団体代表をこなされてきた。三年前85歳でご他界。惜しまれる。

現会高同窓会長の新城猪之吉氏は、日新小学校で担任としての鈴木先生にめぐり会った。先生は、独りでも強く生きられるようにと、様々な場面で暖かく見守り励まして下さって、氏の人生の礎を造って頂いたと氏は述懐する。先生の初赴任校は猪苗代駅近くの千里国民学校であつて、筆者はその6年生。若々しい、姿勢の正しい、ぱりつとした先生に、人間の強さと親しみを感じたものだった。

### 稿を閉じるに当たって

臨戦態勢の准教員養成所は5回生で終了となつたが、戦地での要員となつた方々の補充役としては戦中から戦後にかけてよくその職責を果たして来られたと思われる。准教員養成所に学んだ方々も、紛れもなく同窓の人々である。折に触れ、話題に上る機会があれば、誼(よしみ)を結んでいただきたい。

間もなく創立130年がくる。母校の本質は変わらぬに進むだろう。その母校史・同窓会史の中で、恐ろしい戦争絡みの准教員養成所運営ではあつたであろうが、見守る民意の底辺では、戦後の再起・復活のための土台固めの一翼を担っていたと感じてきただろう。この教員養成所のこと、OB・OGの皆さんの矜持(きよち)のうじ)の一つに加えてくだされば、幸甚である。

# 「会長杯」

## 第11回ゴルフ大会・第10回囲碁大会・第8回将棋大会

今年度も例年通りの会場で、前回同様のルールで実施されました。各部門の役員の方々や参加者のご協力で、楽しく思い出に残る大会にすることが出来ました。

ゴルフ部門の参加者は、昨年より少し減ったが17名で、大盛況でした。

囲碁部門も昨年より参加者が減り18名で、将棋部門は11名でした。

この大会の楽しみは、試合後の懇親会にもあります。各企業から沢山の賞品を提供していただいたため、成績によってそれらをいただき、若さや老いを確認しつつ談笑しました。

### ゴルフ大会

毎年恒例となりました会津高校同窓会コン

ペが、今年も5月5日に会津磐梯カントリーですが、来年は、高39回卒の方々の協力を得て、開催するそうです。

一 條 敏武(高19回) 記

回目の大会になりましたが、17名もの多数の方々に参加されました。当日は、雲一つもない青空が広がり、汗ばむぐらいの、絶好のコンディションでした。上は高5回卒の方から、下は63回卒の方まで、幅広い年代の方々が一同に会して、楽しむ事が出来るのは、ゴルフの一番すばらしい所ではないでしょうか。

我々高19回卒の仲間、前回古希の年に、たまたま優勝してしまい、何もわからず、同窓会の太田さんや、前年の実行委員長の畔越君の協力を得て、何とか、大会の開催にこぎ着きました。又、毎年の事ながら、卒業生の皆様や、各企業の皆様からは、多数の賞品を御協賛いただきました。心より御礼申し上げます。

ゴルフ終了後には、「中の島」で、お待ちかねの賞彰式と、懇親会を開いたのですが、これも又、楽しく盛り上がり、出席の皆さんは、来年の再会を約束して、幕となりました。なお、今年の優勝学年は、高15回卒の方々

### 第11回「会長杯」ゴルフ大会成績

個人優勝	大石 直 (高15回)
団体優勝	高15回 (大石 直・塚原 紘・大竹 清)



高18回の皆さん



団体優勝 高15回の皆さん



# 囲碁大会

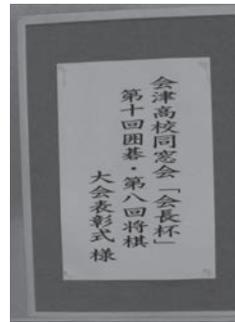
会中・会高同窓会囲碁大会が、五月五日ル  
 ネッサンス中の島で開催されました。参加者  
 数は、昨年より7名減の18名でした。十連休  
 の最中、家に居場所がない人には絶好の企画だったはず  
 ですが…。

戸川稔朗（高19回）副会長のご挨拶の後、試合が開始  
 されました。試合は、例年どおり四段以上のAクラスと  
 三段以下のBクラスに分かれ、スイス方式に準じて行わ  
 れました。今年の優勝者は、Aクラスが金澄卓氏（高24  
 回）、Bクラスが平出達朗氏（高3回）でした。例年世  
 話役に徹してこられた千葉宏先生（高8回）が、今年は  
 試合に出場し、Aクラスで準優勝されました。昨年の審  
 判長で優勝者だった杉原一成氏（八段・高26回）が亡く  
 なられ、お顔を見れなかったのが残念です。

試合後に、例年どおり、将棋の部と合同で表彰式と懇  
 親会が行われました。勝利の美酒に酔い、一手の失着を  
 悔み、悲喜こもごもの囲碁談義にふけりました。

さて、本年も数多くの賞品をご提供下さった各企業の  
 皆様、司会担当の久力奏音（高61回）副幹事長、同窓会  
 役員、その他ご尽力いただいた皆様に感謝いたします。  
 実行委員は、千葉宏先生の指揮のもと、実行委員長皆川  
 義男ほか、川島道雄、古宮正雄、福西宜孝の高校19回卒  
 が担当しました。

福西宜孝（高19回）記



大会風景

Aクラス（四段以上）八名参加				Bクラス（三段以下）一〇名参加				
氏名	段位	卒業	氏名	段位	卒業	氏名	段位	卒業
金澄卓	六	高二四回	平出達朗	三	高三三回	佐藤 紘一	三	高一三回
千葉宏	五	高八回	水野谷正弘	二	高六回	大竹 誠	三	高一三回
斎藤正之	五	高二三回	佐々木郁夫	三	高一〇回	佐藤 紘一	三	高一三回
福西宜孝	四	高一九回	大竹 誠	三	高一三回	大竹 誠	三	高一三回
皆川義男	五	高一九回	佐藤 紘一	三	高一三回	皆川義男	五	高一九回



囲碁 Aクラス優勝者表彰



囲碁 Bクラス優勝者表彰

# 将棋大会



「今年も例年通りです。以上」という一言のみで大会説明が終わり、和やかにスタートしました将棋部門。いつもは持ち時間や反則の説明、AクラスとBクラスの方々が混合で対局するときのハンデ（駒落ち）などの細かい規定を話すところですが、この大胆な説明をされたのが今年のAクラス優勝者三星恵介氏（高30回）であります。囲碁部門は丁寧な説明がなされたのにこのような形でよいものと疑問もありましたが、会場が笑いに包まれました。これも皆で楽しむ親善試合らしくよい挨拶だったのではないかと思います。

三星氏は日本将棋連盟福島県会津支部の支部長も勤めており、本大会の運営も行っていたいただきました。普段は周りを気遣う優しい方ですが、いざ対局になると真剣に相手の手を潰しに行く、鉄壁の将棋を魅せてくださいました。

Bクラスの優勝は熱塩加納温泉で「ホテルふじや」を営む安田茂氏でした。安田氏には普段の会津・喜多方地区の将棋大会でホテルを貸していただきました。4月に喜多方の将棋イベントでお越しいただいたプロ棋士の先生も『ふじや』に宿泊されました。将棋の実力もなかなかのもので、Bクラスでよいのかこちらも疑わしいところではありました。

今年も皆熱戦で、Aクラスは三星氏と私（高木）、山口公康氏（高62回）の三名がそれぞれ4勝1敗の三つ巴となる場面もありました。今回は個人的に山口氏にリベンジをして優勝を目指したいところですが、それよりも『例年通り』皆で楽しい時間をすごせる大会を目指して頑張りたいと思います。

高木 厚成（高60回）記

## 第8回「会長杯」将棋大会成績

●Aグループ（5人）	●Bグループ（5人）
1位 三星 恵介（高30）	1位 安田 茂（高19）
2位 高木 厚成（高60）	2位 神山 広志（高20）
3位 山口 公康（高62）	3位 船木 義男（高24）



大会風景



将棋 Bクラス優勝者表彰



将棋 Aクラス優勝者表彰

## 平成31年会高同窓会「会長杯」協賛企業様一覧 ご協賛に感謝申し上げます。

会津天寶醸造(株)  
 (株)会津磐梯カントリークラブ  
 会津ヤクルト販売(株)  
 (名)畔越商店  
 会津商工信用組合  
 會津通運株式会社  
 (株)会津ガラス  
 (株)会津コンタクト  
 会津酒造(株)  
 会津村  
 (株)安西商会  
 いしかわ歯科医院  
 (資) 稲川酒造店  
 えんどうクリニック  
 大関家具店  
 (株)小沼漆器店  
 スナック かりん  
 株式会社 顕幸  
 (株)幸楽苑ホールディングス  
 (株)斎藤クリーニング  
 さくらクラブ

(株)サポートワンあいづ  
 株式会社 財界 21  
 白井酒造店  
 末廣酒造(株)  
 鈴善漆器店  
 セブンイレブン会津西七日町店  
 セブンイレブン会津高瀬店  
 ゼビオホールディングス(株)  
 ソースカツ丼の店 なかじま  
 (名)高砂屋商店  
 高橋庄作酒造店  
 一般財団法人 竹田健康財団  
 (合) 辰泉酒造  
 ダイハツ福島  
 (株)塚原金物  
 (株)東邦銀行 (北村頭取)  
 名倉山酒造(株)  
 (株)二丸屋山口商店  
 ネットヨタ郡山株式会社  
 ネットヨタノヴェルふくしま(株)  
 花春酒造(株)

林合名会社  
 (株)ハヤオ  
 磐梯酒造店(株)  
 (株)福西惣兵商店  
 (株)不動産信託リサーチ  
 ベストゴルフ若松  
 丸果会津青果(株)  
 (医) 前田眼科医院  
 丸善商事(株)  
 (株)丸正工務所  
 (有)マルコウ  
 (株)米夢の郷  
 (有)毎商会津  
 山本商事(株)  
 八二醸造有限会社  
 八ッ橋設備(株)  
 (有)吉田工業所  
 リオンドールコーポレーション  
 (敬称略・順不同)



平成 30 年「やすらぎの碑」献花祭に参加された方々



会長杯大会の案内状の封詰作業の方々（3月1日卒業式修了後）

## 編集委員会

- 委員長 佐藤 紘一
  - 委員 藤 惠未
  - 校内主任 須藤 毅
  - 校内担当者 伊藤 顕
  - ・ 森田 信
  - ・ 室井 真仁
  - ・ 本多 克至
  - ・ 羽曾 部修章
  - ・ 福島 健一
  - ・ 五十嵐 圭祐
  - ・ 吉田 愛加
  - ・ 佐藤 隆夫
  - ・ 千葉 宏伸
  - ・ 太田
- 顧問
  - 同窓会幹事長



49号編集作業後（8月16日）

## 編集後記

このような会報作りをしていると「どおせ」という言葉が気になる。「一生懸命作ったって『どうせ』読む人なんかほんの少しなんだから」と慰めや戒めの心で忠告されることもある。この否定的諦めムードの漂った言葉は、スポーツ界や芸能関係のみならず、世間のいろいろな場面で使われている。人生を達観したような言葉「どうせ」に反発するのは、容易でない。

しかし、この世では予測しなかった現象や思わぬ結果に驚かされることもよくある。また、それらの「まさか」が新しい価値観を作り、「歴史」を作っているようにも思われる。

我々の発行しているこの会報は、「どうせ」同窓生の一部分の慰み物に過ぎないかもしれない。しかし、寄稿していただいた佐藤隆夫氏の「国民学校准教員養成所」や赤塚吉雄氏の「学而出版委員会」で思い起こすこと」やその外たくさんさんの報告文は、今しか残せない貴重な記録であり、歴史である。それぞれの文章を読んだ人に「まさか」の働きかけをして、思わぬ影響を与えるかもしれない。会報作りでは間違っても「どうせ」などと言う諦観に影響されてはならない。

編集委員長

佐藤 紘一（高13回）

印刷所 (株) 八 会津若松市馬場町一四一  
 ○二四二二二一四二二一  
 FAX ○二四二二二一四一五三

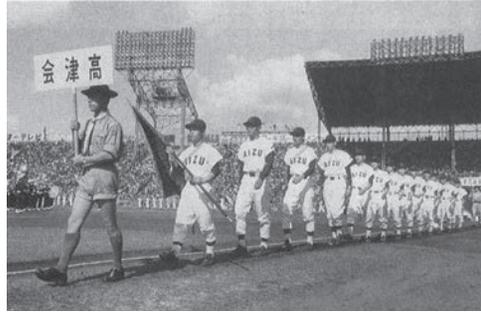
# 創立130周年を祝おう

2020 (令和2) 年9月12日(土)

栄光の歴史を振り返り  
未来に向かって雄飛するため  
130周年行事を成功させましょう



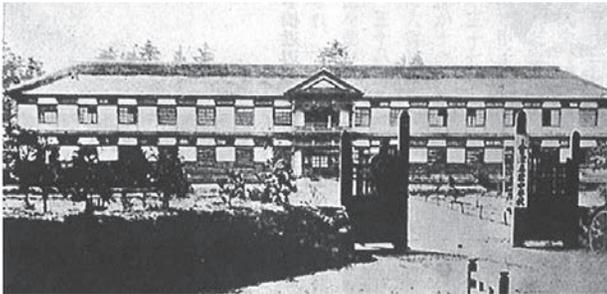
平成14年男女共学1期生・入学式



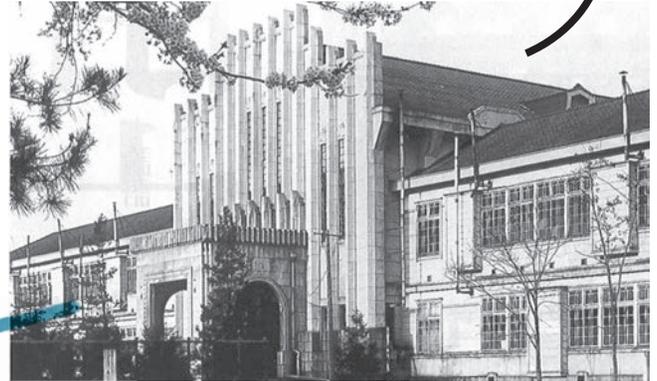
昭和34年「全国高校選抜野球大会」に出場



昭和18年、予科練に行く  
会津中生の壮行会



母校は明治23年に創立し明治27年、新校舎落成



昭和11年会津中学校校舎落成

## 130周年記念事業

学校ならびに生徒諸君の、更なる発展と  
活躍を図るべく、記念式典等の他に  
学而ホール改修・トレーニングセンター  
の充実等も計画しています。



現在のトレーニングセンター



改修の必要が迫られている「学而ホール」

出費多端の折、まことに恐縮ではございますが、何とぞ格段のご芳志を賜りますようお願い申し上げます。